



きれいなチョウを育てて オオムラサキ館「うちで子ども飼育員」

チョウの幼虫を自宅で飼育する「うちで子ども飼育員」が始まり、6月8日、オオムラサキ館で幼虫の受け渡しが行われました。受け取った子どもたちは、同館の飼育員からエサのあげ方などの説明を受けました。キアゲハの幼虫3匹を受け取った、角田小学校3年生の田中舞桜さんは「生き物を育てるのは初めて。ちゃんとお世話できるように頑張りたい」と話していました。



さまざまな仕事の理解を深める 栗山高で就職前職業ガイダンス

栗山高等学校で6月17日、就職前職業ガイダンスが行われました。町内外の企業など16社が参加し、2年生と就職希望の3年生を対象として興味のある企業から説明を受けました。学生たちは、各企業の特色や仕事内容について、メモを取りながら真剣に話を聞き、実際に現場で使われる道具や商品に触れ、仕事に対する理解を深めました。



笑顔で学校に通えるように 町内小中学校へ空気清浄機寄贈

町内小中学校へ鳥山電気工事株式会社から空気清浄機が寄贈され、6月12日、教育委員会を訪問し、鳥山幸健代表取締役が南條宏教育長へ目録を手渡しました。鳥山代表取締役は「空気清浄機で子どもたちが笑顔で学校に通うことになれば」と話していました。寄贈される空気清浄機は、8月下旬に各小中学校の教室や保健室に設置される予定です。



サンタのマスクで明るく笑顔に 「サンタの笑顔」がマスク寄贈

まちなかケアラーズカフェ「サンタの笑顔」が、6月16日、北海道介護福祉学校の学生たちへ手作りのマスク60枚を寄贈しました。マスクと一緒に「サンタの笑顔」コーヒー無料チケットとメッセージも添えられました。マスクを受け取った学生自治会長の久保田綾弥さん（2年生）は「いただいたマスクは、実習などで活用し、カフェにも足を運びたいです」とお礼を述べました。



牛乳の力で活力を JAそらち南が牛乳無償提供

JAそらち南が5月27日、栗山町と由仁町の医療や福祉の従事者に対し、牛乳を380個無償提供しました。北輝男代表理事組合長は「地域住民の健康を守っている、医療・福祉関係者の皆さんには、ご自身の健康管理に気を配ってほしい」と話し、提供を受けた栗山赤十字病院の天崎吉晴院長は「牛乳の力で、コロナに負けずに頑張りたい」とお礼を述べました。



昭和の栗山を版画で知る 開拓記念館で特別展

町開拓記念館で特別展「版画にみるふるさと 昔の暮らし 牛田克彦版画作品展」が6月5日から始まりました。元栗山小学校教頭の牛田克彦さんが描いた、昭和20年から30年代の暮らしや、町の様子など110点の版画のほか、昭和のテレビやラジオなどの生活用品も展示されています。同展は7月12日まで行われます。



栗の収穫を楽しみに 栗の木の植樹活動

有限会社黒田重機が管理する桜丘の山林で、5月23日、栗の木の植樹活動が行われました。300本の苗木を参加者は1本ずつ丁寧に植え、鹿の食害防止ネットを被せ、水をあげていきました。黒田修一取締役社長は「道路から見える場所に栗の木を植えたかった。栗の実が成るのを楽しみに待っていてほしい」と話していました。



コロナ対策は万全 町内各施設がオープン

新型コロナウイルス対策でオープンを延期していた町内の施設が、6月1日から随時オープンしました。栗山ダムパークゴルフ場では、オープンを楽しみにしていた愛好家たちが集まり、仲間とともにプレーを楽しみました。また、栗山公園では人気施設「なかよし動物園」もオープンし、親子連れや散歩で訪れた方などでにぎわいました。

